

仙台市（宮城県）

（１）事業実施期間

平成 22 年 6 月 28 日（月）から平成 22 年 7 月 4 日（日）まで

（２）運営スケジュール

貸与期間中、図表-1のようなスケジュールで貸与された燃料電池自動車を活用し、市民等への普及啓発に努めた。

図表-1 運営スケジュール（仙台市）

日程	内容
6月 28日（月）	・車両搬入 ・職員の体験試乗、環境局庁舎にて車両展示
29日（火）	・公務利用（市内環境パトロール、苦情調査、事務連絡に利用） ・職員の体験試乗
30日（水）	・市立仙台高校にて体験学習 ・職員の体験試乗
7月 1日（木）	・市立仙台工業高校（全日制課程・定時制課程）にて体験学習
2日（金）	・水素充填 ・仙台市科学館にて展示・体験乗車会、市立東華中学校生徒の体験学習 ・職員の体験試乗
3日（土）	・「平成22年度産官学フォーラム講演会in仙台」会場（東北大学萩ホール）にて体験試乗会
4日（日）	・仙台市科学館にて展示・体験乗車会
5日（月）	・車両引渡し

(3) 実施内容

③ 展示及び試乗会

期間中に図表-2のような内容で体験試乗会等を実施し、94名の体験試乗、464名の体験同乗、計558名の乗車体験があった。

図表-2 同乗体験者の概要（仙台市）

実施日	概要	対象者	運転者数	同乗者数
6/28	・ 職員の体験試乗	職員	16	32
6/29	・ 職員の体験試乗	職員	16	39
6/30	・ 市立仙台高校での体験学習	高校生・教職員	2	10
	・ 職員の体験試乗	職員	4	8
7/1	・ 市立仙台工業高校での体験学習	高校生・教職員	9	73
7/2	・ 仙台市科学館での展示・体験乗車会 ・ 市立東華中学校生徒の体験学習	市民 中学生・教職員	5	48
	・ 職員の体験試乗	職員	5	1
7/3	・ 「平成22年度産官学フォーラム講演会 in仙台」会場（東北大学萩ホール）で の体験試乗会	講演会参加者 市民	37	10
7/4	・ 仙台市科学館での展示・体験乗車会	市民	—	243
合 計			94	464

※走行する車両への乗車人数であり、車両見学者数は含まない。

④ 展示・体験試乗会

○市立仙台高校での体験学習

実施日：平成22年6月30日（水）

対象：高校生及び教職員

総合学習等の授業時間を利用し、1年生170名を対象に体験学習を行った。

また、放課後には、2、3年生の希望した生徒約200名が車両見学を行った。



○市立仙台工業高校での体験学習

実施日：平成22年6月30日（水）

対象：高校生及び教職員

全日制課程の自動車部の生徒20名を対象に体験学習を行った。

また、定時制課程の授業時間を利用し、機械科の3、4年生40名を対象に体験学習を行った。



○仙台市科学館での展示・体験乗車会

実施日：平成22年7月2日（金）、7月4日（日）

対象：市民、中学生

7月2日には、市立東華中学校2年生の140名が科学館学習で科学館を訪れ、燃料電池自動車の見学を行った。また、そのうち24名の生徒は、化学実験で燃料電池等について学習後に、自動車の体験学習を行った。



○「平成22年度産官学フォーラム講演会in仙台」会場での体験試乗会

実施日：平成22年7月3日（土）

場所：講演会会場（東北大学萩ホール）

対象：講演会参加者、市民

講演会「電気自動車と明日の社会」が実施され、会場前において講演会参加者や市民を対象に体験試乗会を行った。試乗会には、燃料電池自動車に加え、地元ディーラー等の協力により、プラグインハイブリッド自動車や電気自動車も集結した。

試乗コース：約15km（400m×37人）



(4) 事業の周知方法

一般市民を対象とした仙台市科学館での展示・体験乗車会、平成22年度産官学フォーラム講演会in仙台的会場で体験試乗会について、次の媒体を通じて事前に周知を行った。

- ①平成22年6月25日付けで市政記者クラブへプレスリリースを実施。
- ②市広報紙（市政だより）6月号に掲載。
- ③フリーペーパー（ぱど7月号）に掲載。
- ④読売新聞イベント告知欄に掲載。
- ⑤屋外インフォメーションディスプレイ「青葉通プラット・ステーション」の仙台市トピックス（イベント情報）にて告知。
- ⑥その他、朝日新聞及び山形新聞の地域版情報コーナーに紹介記事が掲載された。

また、学校での体験学習については、学校側にポスター掲示や校内新聞への記事掲載等により生徒への事前周知をして頂いた。

<p>市広報紙（市政だより6月号）</p> <p>未来のエコカー 燃料電池自動車に乗ってみよう</p> <p>日時 7月2日(金)午後1時～4時(展示)、7月4日(日)午前10時～午後4時(展示・体験乗車)</p> <p>会場 科学館 直接会場へ 環境対策課 ☎214・8222</p>	<p>フリーペーパー（ぱど7月号）</p>  <p>青葉区 台原森林公園 たのしみ</p> <p>未来のエコカー 燃料電池自動車に乗ってみよう</p> <p>燃料電池自動車は、燃料の水素と空気中の酸素を使って発電した電気で走るため、走行時は水蒸しか出さない究極のエコカー。家族みんなで未来のエコカーを体験しよう！※運転は市職員が行います。<参加無料/申込不要></p> <p>日時…7月4日(日)10時～16時 会場…仙台市科学館3階 問合せ…仙台市環境局環境対策課大気係 ☎022-214-8222</p>
<p>読売新聞イベント告知欄（6/11、6/15掲載）</p> <p>未来のエコカー 燃料電池自動車に乗ってみよう！</p> <p>仙台市では、市民のみならずを対象に燃料電池自動車の展示・体験乗車会を開催します。燃料電池自動車は、燃料の水素と空気中の酸素を使って発電した電気で走る究極のエコカーとして注目されています。ご家族で体験乗車（運転は市職員）</p> <p>皆様で未来のエコカーをぜひご体感下さい！ ◎申込不要。</p> <p>日時 7月2日(金) 13時～16時(展示のみ) / 7月4日(日) 10時～16時(展示体験乗車)</p> <p>場所 仙台市科学館3階 エントランス前</p> <p>内容 燃料電池車(ホンダFCXクラリティ)の展示・体験乗車(運転は市職員)</p> <p>★7月3日(土)には「産官学フォーラム講演会in仙台(東北大学等主催)」(東北大学秋ホール前)にて開催。お問い合わせ 仙台市環境局環境対策課 ☎022(2)14・8222</p>  <p>▲ホンダFCXクラリティ</p>	<p>校内新聞</p> <p>あの燃料電池自動車が、本校にやってきました！</p>  <p>今回の燃料電池自動車のスタイル フロントビュー(左)とスピードメーター(右)</p> <p>燃料電池自動車とは？ 燃料電池に水素と酸素を取り込み、その化学反応で電気を発生させてモーターを回し、走ります。排出ガスは無く、出すのは水だけというクリーンな車です。小さな発電所とも言える燃料電池で自ら電気を作るので、充電の必要もありません。タンクへの水素の充填は短時間で、一回の充填でガソリン車同等の距離を走る事ができます。燃料電池電気自動車はエネルギーのロスも少なく、燃費性能にもすぐれています。</p> <p>昨年8月に開催されたエコプラン講演会の中で、究極のクリーン性能を持つ話題となった燃料電池自動車が、6月30日(水)に仙台市環境局の職員の方と共に本校にやってきました。乗車定員4名で、350気圧の水素の充填で620km走行可能です(10・15モード走行)。車両価格は、昨年の講演会の中で講師の井口郁氏は1億円位とおっしゃっていました。当日は午後からの展示説明となります。一年生の科目「現代社会」や「総合的な学習の時間」の中で該当クラスの皆さんには学んでもらう予定です。また放課後も展示・説明をしていますので、その他の皆さんも随時見学して係の方から色々学んで下さい。</p>

(5) 報道実績

7月2日の仙台市科学館での中学生の体験学習の様子が、地元テレビ（東北放送、宮城テレビ、東日本放送）のニュースで取り上げられた。